

《連載》 网络用語辞典⑦

“电子邮件・之 4 …Cc 与 Bcc (同时向多人发送电子邮件)”

发送电子邮件时，必须输入“To (收件人)” <注 1> (一般情况下，还要输入“文件名称”及邮件内容)。

可是，要想同时给多人发送电子邮件的话，该怎么办好呢？电子邮件因为能够轻而易举地完成这样的工作，因此这也是它与书信所不同的地方之一。

在“To (收件人)”一栏中，用“，(逗号)”或者“；(分号)”将每个人的邮箱号码隔开，就可以同时向这些人发送邮件了。另外，除本来要发邮件过去的接受人以外，若是希望对方浏览邮件内容的话，就在“Cc (共有)”栏中同样地输入邮址。此处的“Cc”是 Carbon copy 的缩写。现在已经十分罕见了，其词源来自以往通过印蓝纸 (Carbon) 将文件进行复制 (copy) 一语。

[例 1] 下述邮件除了要发给李以外，还要发给佐藤、加藤、田中以及铃木。

收件人：李 (的邮址。以下同)

Cc (共有)：佐藤，加藤，田中，铃木

[例 2] 通过以下方式进行输入，其效果亦与例 1 相同。

To (收件人)：李，佐藤，加藤，田中，铃木

如上所示，同时给多人发电子邮件这一办法不但方便，而且非常便于在多位朋友・熟人之间作意见交换。您只要单击一下“全员に返信する (回复所有人)”一项，那么既收邮件中的“To (收件人)” (收件者本人除外)、“送信者 (发信者)”及“Cc (共有)”各栏里所记载的所有人的邮址，都会被自动地输入到回复邮件的“To (收件人)”中来。

不过，其中或许有人不愿意让不相干的

《連載》 ネット用語辞典⑦

「電子メール・その 4 …Cc と Bcc (複数の人に同じメールを送信)」

メールを送信するには、「To (宛先)」を必ず入力 <注 1> しなければなりません (通常は、「件名」とメールの本文も入力します)。

ところで、複数の人に同じメールを送信したい時は、どうしたらいいでしょうか？電子メールは、このようなことが簡単にできるというのも、手紙と違った大きな特徴のひとつです。

「To (宛先)」欄に送信先のメールアドレスを「，(カンマ)」又は「；(セミコロン)」で区切って入力すれば、それらの人に同じメールを配信することができます。また、本来の送信先以外で、メールの内容に目を通しておいてもらいたい人については、「Cc (同報)」欄にアドレスを同様に入力するようにします。この「Cc」とは Carbon copy の略です。今ではほとんど見られませんが、書類をカーボン (Carbon) 紙を使って複写 (copy) していたことが語源となっています。

[例 1] 次のメールは李のほかに佐藤、加藤、田中、鈴木に届きます。

宛先：李 (のアドレス。以下同じ)

Cc (同報)：佐藤，加藤，田中，鈴木

[例 2] 次のように入力しても効果は例 1 と同じです。

To (宛先)：李，佐藤，加藤，田中，鈴木

以上のように、複数の人に同じメールを送信するのに大変便利であるだけでなく、複数の友人・知人間で意見交換を行う場合にも極めて有効です。「全員に返信する」をクリックすれば、受信したメール中の「To (宛先)」(受信者本人を除く)、「送信者」及び「Cc (同報)」の各欄に記載されている全員のアド

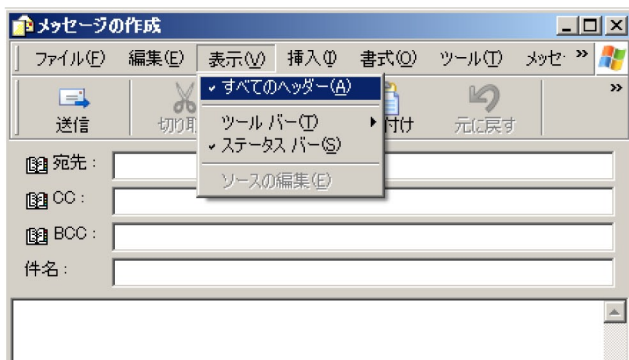
人知道自己的邮址。这时，可以将自己的邮址输入“Bcc”栏<注 2>中，而在“To（收件人）”栏及“Cc（共有）”栏中，输入那些不介意将自身邮址公开的人。“Bcc”是 Blind Carbon copy 的缩写，在发送复制件这个意思上，与“Cc”相同，但邮址却被 Blind（隐藏）起来。向多人发送通知或邀请内容的邮件时，从保护个人隐私这一角度考虑，将“不知还发给其他何人”这一信息掩蔽的“Bcc”，最为适宜不过。

准确无误地输入邮址，是理所当然的，但同时向多人发送邮件时，需要特别小心。比方说您同时向五个人发出了邮件，可是输错了一个人的邮址，但其他四个人却可以照常收到你寄来的邮件。随后，虽然会接到自动发来<注 3>的“错误邮件”，通知作为发信人的您输错了邮址，可是其他四名收件人，却得不到这样的信息，因此他们是无法立即知道邮址有误这一情况的。

<注 1> 仅在“Cc（共有）”或是“Bcc”中输入，来取代“To（收件人）”，也是可以发送邮件的。

<注 2> 若在制作邮件的画面上方没有显示“Bcc”的话，就请在“ツールバー（工具栏）”中找出“表示（显示）”→ 之后选择“すべてのヘッダー（所有页眉）。”

<注 3> 此“错误邮件”的“发件人”为「Mail Delivery Subsystem」、「mailer-daemon」等。



レスが自動的に返信メールの「To（宛先）」欄に入力されます。

一方、中には自分のアドレスを特定の人以外には知られたくない人もいることでしょう。そういった人のアドレスは「Bcc」欄<注 2>に入力し、「To（宛先）」欄及び「Cc（同報）」欄には、アドレスを公開して良い人についてのみ入力しましょう。「Bcc」とは Blind Carbon copy の略で、コピーを送るという意味では「Cc」と同じですが、アドレスが Blind（目隠し）されています。多くの人へのご案内メールのような場合は、プライバシー保護の観点から他の誰に送ったのかが分からない「Bcc」が適しています。

メールアドレスを間違えて入力しないようにするのは当然のことですが、複数の人にメールを同時送信する場合には、特に注意が必要です。あなたが 5 人の相手にメールを同時送信した場合、1 人のアドレスを間違えても他の 4 人にはメールが届きます。そして、送信者であるあなた宛にはアドレスが間違っている旨のエラーメールが自動的に配信<注 3>されますが、あなたからのメールを受信した 4 人には、エラーメールが配信されないため、その人のアドレスが誤っていることがすぐには分かりません。

<注 1> 「To（宛先）」に代えて「Cc（同報）」又は「Bcc」のみへの入力でも

メール送信は可能です。

<注 2> メール作成画面に「Bcc」欄が表示されていない場合は、ツールバーの「表示」→「すべてのヘッダー」を選択してください。

<注 3> このエラーメールの「送信者」は、「Mail Delivery Subsystem」、「mailer-daemon」などとなっています。